

自然エネルギー信州ネット 平成23年度第2回運営会議 議事録

1) 開催概要

日 時：平成23年9月22日（木） 14：00～16：30

場 所：長野県職員センター 1階会議室

出席者：平島議長、井出理事、沖野理事、傘木理事、月岡理事、寺澤理事、中島理事、
原理事、高木監事、宮入事務局長

長野県環境部温暖化対策課：1名 事務局：3名

(一般参加者) 正会員11名 準会員8名 正会員同行者1名

(報道関係) 2名 ※冒頭のみ

(建設技術研究所) 1名

計 37名

欠席者：茅野会長（議長委任）、葦木理事（沖野理事委任）、天野監事

2) 会議次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 会議事項

(1) 公募事業への申請及び普及モデルについて

- ・『長野県新しい公共の場づくりのためのモデル事業』（長野県県民協働・NPO課）
- ・『平成23年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務』（環境省）

(2) 専門部会について

- ・ワークショップについて
- ・県補正予算事業について

(3) 地域協議会への活動資金の配分について

(4) 地域協議会の準備状況について

4. その他

5. 閉会

3) 提示資料

- ・自然エネルギー信州ネット第2回運営会議資料
- ・(参考) 地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務に関する提案書

4) 議事概要

1. 開会

事務局長より開会の報告

- ・出席委員8名、委任2名、監事1名の出席により運営会議は成立。
- ・欠席の茅野会長は平島議長へ、葦木理事は沖野理事へ委任。

2. あいさつ

議長より、開会のあいさつ

3. 会議事項

(1) 公募事業への申請及び普及モデルについて

提示資料：自然エネルギー信州ネット第2回運営会議資料（1～3 ページ）

- ・現在信州ネットで申請中の事業および採択された事業について説明

協議事項

- ・：質問・意見
- ：回答

決定事項

(2) 専門部会について

■自然エネルギー信州ネットにおける専門部会設置について

提示資料：自然エネルギー信州ネット第2回運営会議資料（4～12 ページ）

協議事項：

○専門部会（事業別）の設置運営について

<県より補足説明>

- 県では、来年度末に温暖化防止条例の改正、県民計画の改訂に向け、準備を行う。その中で自然エネルギーについてどんな目標をもって取り組むか検討し、ポテンシャル調査も行いたい考え。
- 県としての自然エネルギー自給戦略の方針を出したい。検討会は公開、政策提起型でパブリックコメントも行う予定。誰でも参加できるようなワークショップ開催も検討中。
- 現在、来年度の予算要求に向けて準備中であり、予算を計上するためにも早めに政策提案をまとめたいところ。

<出された意見の詳細>

①自然エネルギー信州ネットにおける専門部会のあり方について

- ・専門部会について、当初は地域協議会から出てくる課題をコンサルティングする役割を持つと捉えていたが、実際には特定の事業を行う事業部会ということなのか。
- 当初のとおり、コンサルティング的な専門部会になっていく必要があると考えている。ただ、それを進める際にも人材育成が必要な場面もあることから、意気込みをもった方が集まる来週実施のワークショップでグループをつくり、それが専門部会につながるとよいと考えている。さらには環境省の補助事業などでも人材育成部分を活用できるため、さらに専門部会に挺入れをしていただき、専門性、技術力、人脈も含めたレベルアップに役立てていきたい考え。また、資料6ページの技術部会の例がいくつか記載されているが、これは信州ネットを動かしていくために必要なメニューとして必要なもののひとつであると考えているもの。これは補助金があるときに設置する短期決戦型の部会であるため、ここで様々な事例を集め、事業化を検討したい。29日のワークショップから立ち上がってくる自主的な専門部会とうまく連携したい。地域エネルギー開発支援づくり部会にもフィードバックしながら持続できる仕組みをもつこと

が一番良いと考えている。当初の話のとおり、テーマ性をもった技術コンサルタント的な役割も発展していくということで理解いただくとわかりやすいのではないかと。

- 専門部会の基本は地域で取り組むことを応援することであり、それは技術部会も同じである。技術部会そのものが事業を行うということを主目的としているわけではない。
- ・おっしゃる通りだと思うが、現実的にマンパワーやお金のことを考えるとそんなに切り離せない、あれもこれもできないと思う。来週実施のワークショップでは、会員さん自主性を引き出すというねらいとともに、それと資金の流れとどうマッチングすればよいか。それが次の運営会議の議論となるであろうから、かなり丁寧に進める必要があると考えている。

②自然エネルギー信州ネットの事務局運営・経費について

- ・補正予算の1700万円を計画的に使い切るとは大変であると経験上感じている。必ず適合しない支出も出得る。運営には業務の1割程度の自主財源がないと切り回しもできない。お金を動かすには、人を動かさなければならない。人を動かすための経費は、補助金や委託業務においてもっとも使いにくい部分。形の見えないものに領収書も発行しにくい。そのあたりを懸念している。今後は、自主財源の確保、会費も含め考えていく必要がある。また、新規雇用に関しても、公募してスムーズにいい人材は揃わないと思う。専門部会等がある程度自主的に管理運営できることが必要。事務局体制をどうつくるか、地域協議会の分はある程度予算が確保されているが、難しいテーマを抱えていることから、しっかり議論し、スタッフの人材育成をしていく必要がある。
- 今後の運営では、労務や財務などを含む会計など、管理費的な諸経費分を事務局の経費に充てさせていただき考え。皆様にもご了解いただければと思う。その中で会の運営に役立てることができるように実行予算を組んでやっていきたい考えである。(事務局長)
- ・補助金や委託業務は、お金が後から入る精算払いが多い。よって、初めの立ち上げ時に実施予算もない場合は、どうするのか。誰が工面するのか。
- 本業務の事務局運営における資金繰りの面では、前払い金等配慮、ご協力いただくことができた。補助金などでは、入金業務終了時になると思うが、支払い条件を協議し滞りなく資金繰りを行っていきたい。(事務局長)

③専門部会設置に伴うスタッフ雇用について

- ・9月補正の事業での新規雇用者は、緊急雇用対策事業であることから現在無職の方を探すということか。定年退職者が主な対象となるのか。
- 緊急雇用対策事業での新規雇用6名は基本的に失業者対象。ただし、失業期間の限定はないため、現職を退職するならば対象となる。応募する段階で定職を持っていない方が対象。環境省の補助業務は臨時スタッフであるため、別で職を持っていてもよいと考えられる。
- 新規雇用者の募集は公募で行うため、会員の皆様からの推薦も受け付けたい。幅広く情報公開しながら人材募集していきたい考え。(事務局長)

④自然エネルギー信州ネットにおける事業別専門部会設置について

- ・地域エネルギー開発支援システムづくり部会の検討事項が、来週のワークショップでの検討事項とは別なのか同じなのか。
- 地域エネルギー開発支援システムづくり部会を設立するかどうかについては、ワークショップを経ずにこの場で審議決定したい考え。
- ・ワークショップのテーマのひとつである「政策」がこの件に該当しており、地域エネルギー開発支援システムづくり部会の中にできる部会が来週行うワークショップで形になるグループに位置付けられているものというイメージをもった。そのようにした方がスムーズであると考えられる。できれば、地域エネルギー開発支援システムづくり部会は、信州ネットがやるべき大きな柱であり、政策会議、ポテンシャル調査等の政策的なことに取り組むことと、太陽光などの分野別にそれぞれの政策的課題等の洗い出しを行い、それらを合わせた成果を出す。そのように組み立てたらどうかと考える。

- ・中身についてはワークショップでの結果をうまくいかし、どういう部会にするかを議論できたらよいと思う。(議長)
- ・地域エネルギー開発支援部会の設立に対して、異論はあるか。
- ⇒理事・監事全員、異議なし・成立
- ・部会設立に向け、立ち上げまでの世話人を選出したい。(議長)
- 理事からのご推薦がなければ、事務局提案として、世話人は県への政策提言にも加わる、コーディネートできる人がふさわしい。経験もある平島議長にお願いしたい。
- ⇒理事・監事全員、異議なし・成立
- ・理事の方々の協力をいただきながら、務めていきたい。(議長)
- ・環境省の事業化検討業務における部会設立に対して、異論はあるか。
- ⇒理事・監事全員、異議なし
- ・こちらに関しても、立ち上げまでの世話人を選出したい。(議長)
- 理事からのご推薦がなければ、事務局提案として、実績、経験のある原理事、井出理事を選出したい。
- ⇒理事・監事全員、異議なし
- ・世話人としては、太陽熱でシステムづくりをされているサンジュニア西原氏にサポートをお願いしたい。(理事)
- 了解した。
- ・環境省の事業化検討業務は、地域コーディネーターを人材育成していくことが柱の一つとなっている。理事、参加者にも地域のコーディネーターを自薦他薦問わず検討をお願いしたい。部会には、部会立ち上げにかかわりたい方や自分でビジネスを行いたい方、関わりたい方などに加わっていただきたい。

地域開発システム部会を設立する。また、部会立ち上げまでの世話人として平島理事を選任。

初期投資ゼロによる自然エネルギー事業検討部会を設立する。部会立ち上げまでの世話人として原理事、井出理事を選任。そのサポートとして西原氏を選任。

■ワークショップについて

提示資料：自然エネルギー信州ネット第2回運営会議資料（13 ページ）

<ワークショップの進め方イメージ>

- ①自己紹介を行いながら事前に用意したカテゴリーに振り分け、グループ分けを行う。
- ②カテゴリーのグループごとに、どのようなことが研究テーマとなるかを、模造紙やカード等を使って出し合い整理し、今研究すべき課題をまとめる。(45分)
- ③休憩時間中（15分）に各グループでまとめた内容を見て、他のグループに興味関心を持ったら移動も可能。
- ④グループごと再整理。その際に、技術部会、ゼロ円システム部会、ソーラー年金部会との位置づけ等についても検討できるとよい。(45分)。
- ⑤検討状況をグループごと発表し、まとめる。

※備考

- ・技術部会とのすり合わせ方法は事務局と事前に検討していく。
- ・各グループが自主的にワークショップに取り組むことが重要。

- ・お金のない中で啓発、普及をどう進めていくか、どうマネジメントしていくか検討
- ・地域や自分の仕事興しにもつながるワークショップとしたい。
- ・参加していただいた理事に当日の方向付けや舵取りのご協力をお願いしたい。
- ・結果をもとに、次回運営会議にて再整理する。

<出された意見の整理>

- ・皆さんの考えを共有する大事な場となる。私も今回のファシリテータのワークショップに参加したことがあるが、楽しかった。ぜひ多くの方に参加いただきたい。(議長)
- ・グループ分けについて、例えば太陽光というテーマに参加者の大半が集まり偏ってしまうことも考えられるが、それでもよいのか。
- それでもよい。ワークショップを進めていく中で、テーマの取捨選択は出てくる。大勢集まった太陽光の中をさらに細分化していく方法もある。
- ・皆興味関心があり、どのテーマにするかすごく迷うのではないか。
- 自分が積極的に関わりたいテーマのグループに入っていたけるとありがたい。
- ・グループのカテゴリーは事前に準備されるのか。(会員)
- 最初のカテゴリーの大枠は事前に準備する。当日進める中で、そのカテゴリーに沿ったグループは分裂したり結合したりしていくことを期待している。
- ・今、考えているテーマがある。まだ準備に間に合えば加えていただきたい。ひとつは、地域の状況、データを調べ、ビジョン化するという、全県のエネルギービジョンを検討する会。もう1つは、地域でのマネジメント、コーディネートを学ぶ会である。(会員)
- 1つ目は政策に、2つ目はマネジメントあたりに位置付けられるかと考える。検討しておく。
- ・もう少しテーマの募集を延長して行ってはどうか。ワークショップ当日は、事前に収集したテーマをどう扱うのか。
- 当日は参考資料として提示する予定。1つのカテゴリー内に複数テーマがある場合の調整は参加者の力量でやっているとよい。今回は専門部会立ち上げのためのワークショップであるが、その中で自発的に取り組みたいというグループが出てきたときにどう位置付けていくかについて、運営会議で方針を決めておく必要がある。
- ・当日参加できない人の持つ意見を反映できないのではなく、何か反映できる方法をとっていただきたい。
- ・技術部会については10月中に決まって入れればよいので、もう一度ワークショップを開催するかどうか。
- ・今回行うワークショップの成果はどのように考えているか。結果を公表、皆で共有し、それについてさらに意見をうかがいながら方針をまとめていく方法になるのだろうか。
- 基本的に結果は運営会議に戻し、そこで位置付けしていくことになる。そのための基礎資料がこのワークショップで生まれてくるイメージ。欠席の方への配慮は、結果を文書で公表しそれに対する意見を伺う。そして、様々なことを想定したルールを運営会議で決めておく。
- ・立ち上げる部会については、ワークショップの結果だけで決定ではなく、運営会議を経て正式決定する。部会は一斉に立ち上げるのではなく、できるところからもしくは必要性の高いものから順に立ち上げる。運営会議では、過程において必要なルールをつくる。ワークショップは手法の一つであり、この結果ですべてが決まるわけではないことを整理しておく。(議長)
- ・ワークショップでのテーマの事前募集(先日の延長)は、26日(月)中を締め切りとすることよい。
- ・メーリングリストで連絡する。(事務局長)

テーマについて、9/26まで追加募集する(メーリングリストにて会員に伝達)
 ワークショップの結果は公表し、それに対する意見を募集する。
 ワークショップで整理された部会候補は、次回運営会議で再整理する。

(3) 地域協議会への活動資金配分について

提示資料：自然エネルギー信州ネット第2回運営会議資料（14～18 ページ）

協議事項：

- 「地域協議会に関する状況調査シート」および「自然エネルギー信州ネットと連携する地域協議会の登録及び普及モデル開発地域協議会の募集要項（案）」に対する内容の確認について

<出された意見の詳細>

- ・状況調査シートをメールで送付いただきたい。
- 状況調査シートのデータはメール添付しお送りする。用紙は理事に記入いただき、9月末までに提出願いたい。
- ・応募要項について質疑はあるか。問題がなければこの要項で。（議長）
- アンケート用紙とともに発信予定。承諾いただければ要項の案をとって発信する。（事務局長）
- ・寄せられたアンケート結果は、各地域にフィードバックされるのか。
- 表などに整理し、公表、共有したい考え。（事務局長）
- ・現時点で異論なければ、これでいったん進めたい。（議長）
- ・地域協議会について、地方事務所ごとに1つずつつくと聞いているが、1地方事務所に2つの協議会があってもよいのか。（会員）
- 地域協議会のあり方にはネットワーク型と特定事業型があり、ネットワーク型は広域的に取り組むもの、特定事業型は例えば合併前の旧町村単位程度で事業化に向け取り組むことが考えられると、各学習会でも説明申し上げている。地方事務所単位で取り組むものはどちらかといえればネットワーク型が当てはまり、それぞれが準備していくことで理解いただけるとよい。両者の併存はあり得る。
- ・資料16ページの募集要項、21ページの依頼文について、両者とも地域協議会という形をとった場合のみに限ったものであるのか。上田地域は、まだ地域協議会の立ち上げるかどうか検討中である。見える取り組みを実施しながらネットワークを地域に作っていくということは、どちらも大きな作業であり、両方は厳しいのではという考えもある。そのように、地域協議会を立ち上げなかった場合、自治体や地方事務所から協力は得られないのだろうか。普及モデル開発地域協議会は立ち上げられないのだろうか。（会員）
- 地域協議会の立ち上げには3つの段階がある。
 - ①任意団体が信州ネットの正会員になっていただくことで他の地域協議会と連携を組む方法。正会員となることで種別の専門部会等にも参加いただける。
 - ②地域協議会ではあるが、ソフトなまとまりでの連携をとっていく形、事業の委託普及モデルをつくっていただく、お金もともなって依頼するものまでは行わないが、ソフトに連携したいということで地域協議会を立ち上げる方法。
 - ③普及モデル構築に取り組みながら、ビジネス化を同時に検討する地域協議会を立ち上げる方法だけでなく、ライフスタイルやネットワークづくりもモデルに含まれており、それほど敷居の高いものばかりではないと考えてほしい。ただし、資金的な支援を行う場合には、資金管理ができる事務局体制、報告書の作成などが必要となる。それぞれの皆さんが地域での活動に根差した形で持続できる地域協議会、グループを連携できるとよいと思う。
- ・上田地域もおそらく要件も満たしており、応募対象になると思う。

地域協議会に関する状況調査シートは、データをメールに添付のうえ配信。理事の方々に記入・返送いただく（9月末締め切り）
寄せられた状況調査シートの結果は、表等で整理し公表、共有する。

(4) 地域協議会の準備状況について

各地域での地域協議会の準備状況を報告。

<諏訪地域>

- ・9/15に第1回準備会開催、学習会を開催。
- ・9/27に第2回準備会、10月に2回の準備会、11/4に設立総会開催予定。
- ・各団体の動きを束縛せず全体をネットワークで結び、県との連携をとっていく「ネットワーク型」を進めたい。
- ・参加者とともに、具体的にできそうなところから始めていきたい。
- ・メガソーラーについて、ゼロ円システムを検討しながら具体化することを考えており、地元にも説明したところ。

<佐久地域>

- ・9/1学習会開催、60名ほどが参加。地元の自然エネルギーに関する状況把握、事例紹介、説明を実施。事例は次の通り。
 - *佐久平駅前広場に設置される公園の照明灯（太陽光パネルで発電しLEDを使用した照明が地元で製品化されている）
 - *カラマツボイラー（チップ化しないカラマツをある程度の長さで丸ごと燃やす）
 - *太陽光+太陽熱を組み合わせたパネル
 - *庭に建て両面で発電できる太陽光パネル
 - *ゼロ円システムの取り組み紹介
- ・メガソーラーも佐久型で取り組みたい考えもある。
- ・今後の信州ネットの動きを踏まえ、準備会を立ち上げていきたいと考えている。丁寧にスピーディに進めたい。
- ・信州ネットの立ち上げの過程も参考としたい。

<松本地域>

- ・8/31関係者による打ち合わせを実施
- ・10/6 18:00～ 合同庁舎講堂にて学習会を開催予定。

<上伊那地域>

- ・8/10学習会開催
- ・参加者に情報発信し交流会等を持ちながら、具体的な準備会を世話人中心に進めたい考え。

<下伊那地域>

- ・9/13学習会開催。動員をかけずプレスリリースのみで40名ほど参加があった。関心は高い。
- ・今後、協議会立ち上げに向け準備しネットワーク型の協議会を立ち上げたい考え。

・ゼロ円システムに参加する設置個人にも協議会に入っていただく。

※おひさま進歩エネルギーでは飯田市からゼロ円システムの事業採択を受けることができた。今後南信州全体でゼロ円システムを普及させていく。

<長野地域>

- ・特定事業型では、長野市を中心とする木質ペレット普及モデルをつくる検討を行う。6団体参加。9/30 設立総会開催予定。
- ・ネットワーク型では長野北信地域学習会（7/11、7/29、8/9）勉強会開催。10月中～下旬を目標に設立準備会を行っていきたい考え。
- ・普及啓発と複数の特定事業型を組み合わせたようなネットワーク型地域協議会の設立を目指す。

4. その他

提示資料：自然エネルギー信州ネット第2回運営会議資料（19～22 ページ）

協議事項：

○会員名簿のホームページ公開に向けた確認票、入会申込書（改訂版）について

<出された意見の詳細>

- ・会員だけに会員の情報を公開するという方法もあると思う。会員限定という方法もあるのではないか。（会員）
- 会員の中には、メーリングリストに同意がなく FAX を希望する方もおり、紙でやり取りをしなければならない方もいるのだが、郵送対応も含め、会員のみ情報共有、会員限定という方法は可能であると思う。（事務局長）
- ・ホームページでの情報公開は、大勢の方が同意するという前提での話。公開に同意のない方は公表しない。まずは確認票で会員の意向を確認することとする。（議長）
- いったんこの過程を経て確認し、公表可能な方の会員名簿を公表していきたい。どんな方が会員か知りたいという問い合わせいくつが寄せられている。確認票をメーリングリストで発信し、聞き取りを行いたいと思う。（事務局長）

会員名簿の公表について、確認票にて会員の意向を確認する。

入会申込書は、入会時に申込内容の公表の可否を確認できる書式に改訂する。

協議事項：

○市町村長宛ての自然エネルギー信州ネット及び地域協議会への協力依頼文について

<出された意見の詳細>

- ・県温暖化対策課としては、温暖化対策や自然エネルギーに取り組む団体、企業を応援していく立場だと考えており、基本的に支援していく。県が新たな公共の場づくりのために力を入れている事業に対し、複数の主体が参加し、誰でも参加できる公共的なものを積極的に応援する立場にある。基本的に自然エネルギーに取り組む団体を応援していきたいので、必要があれば個別にご相談いただきたい。

協議事項：

○自然エネルギー信州ネットの後援・協力の依頼について

<出された意見の詳細>

- ・後援（名義）などの依頼が来た場合、理事監事のメーリングリストで報告し、所定の期限をつけさせていただき、その間に異論がなければ了解を得られたということで後援を承諾することを考えている。後援する催事内容等は、依頼者に準備いただき、事前に事務局でチェックした後にメールに添付し配信する予定。（事務局長）
 - ・その進め方でよろしければそれでいきたいと思う。（議長）
- ⇒理事・監事全員、異議なし
- ・それぞれの団体等でも相互に利用し、自然エネルギーの普及に役立てていただければと思う。

後援（名義）等の依頼があった場合は、MLにて理事・監事の了解を得たうえで、後援を承諾することとする。

追加案件：

次回運営会議の開催、臨時総会の開催について

<出された意見の詳細>

- ・当初の予算に加え、資料1ページにある複数の事業が動いてきている。県NPO課の事業の見通しがついた場合、自然エネルギー信州ネットの平成23年度の予算や事業が具体的に見えてくると思う。信州ネットは、「新しい公共支援事業」で設立はしたが、かなり事業規模が大きくなってきている。NPO課の採択が見えた段階、あるいは部会がおよそ見えてきた段階、地域協議会の状況が見えてきた段階で、理事の方々に運営会議を諮りたい。また、内容、金額や事業の変更が大きくなることから、早めに実施した方が良いのではないかと。時期的には、10月末頃に第3回運営会議、11月に臨時総会を開催してはどうか。（事務局長）
- ・私も必要だと思う。早期に提案、準備していきたい。（議長）

次回運営会議は、10月末頃に開催を予定する（臨時総会の議案確認）。

当初2月頃を予定していた臨時総会は、日程を早め11月頃に開催を予定する。